

## 第50回 空知管内技能尊重推進大会（妹背牛大会）

空知管内で活躍する技能者の社会的・経済的地位の向上を図る「第50回空知管内技能尊重推進大会（妹背牛大会）」が3月13日、妹背牛町民会館で開催されました。関係者や来賓など80人が参加し、地域の産業やものづくりを支える技能者の功績を称えました。

最後に、同大会の実行委員長で妹背牛町技能協会会長の真鍋剛氏が「ものづくりの魅力発信や優秀な後継者の育成に力を注ぎ、地域発展に寄与します」と大会宣言をし、式典を締めくくりました。



大会宣言をする真鍋氏



記念講演をする芳形氏

## 地域おこし協力隊通信

妹背牛町に在籍する地域おこし協力隊員の活動状況などを紹介します。

ベトナム人地域おこし協力隊のズオン・ティ・フォンさんとグエン・カン・リンさんを講師に迎えた体験講座「ベトナム文化にふれてみよう」が2月21日、町保健センターで開催され、町内の親子がベトナムのお菓子づくりを楽しみました。

調理したのは、ベトナムで親しまれているお菓子「揚げバナナ」。漬けたバナナに米粉ベースの衣を付けて揚げたスナック菓子で、外はカリッと、中はとろりとした食感とバナナ本来の自然な甘さが特徴です。ベトナムでは、祭りの屋台などでよく見かける人気の食べ物といえます。



ズオン・ティ・フォンさん

エプロン姿の子どもたちは、バナナを切ったり、衣を付けたりと調理を楽しみながら、出来上がった揚げバナナをおいしそうに味わっていました。中には、チョコレートソースをかけて日本風にアレンジする子もおり、会場は和やかな雰囲気になりました。

この日は、ベトナム人技能実習生の4人も親子のお手伝いとして参加。作り方を教えたフオンさんは「子どもたちがかわいかったし、『もう一回やりたい』と言ってくれてうれしい。手伝ってくれた技能実習生のみんなにも感謝したいです」と話しました。

また、リンさんは「日本とベトナムの屋台の違いなどについて、お話できたことが楽しかったです」と、声を弾ませました。

参加者たちは、お菓子づくりを通してベトナムの文化に触れ、楽しい交流のひとつを過ごしました。



グエン・カン・リンさん